

『なぜだろう』の思いを大切に

審査委員 井川 学

高校生の皆さんは、日常生活のふとしたことや授業の中で、なぜだろう、と思うことがあると思います。その疑問を大切にして突き詰めて考える中に新しい研究テーマの芽が潜んでいます。大学に行くと最先端の装置を使って研究に取り組むことですが、高校生という条件の中でもアイデア次第で素晴らしい研究ができます。研究を進める中では、思うように進まないことは多くあるでしょうが、苦労があればこそ新たな発見があった時の喜びは格別でしょう。

ただし、ともすると得られた結果を過大評価しがちです。思い込みではなく客観的に正しいことなのかよく見直すとともに、周りの人達に研究内容を説明してみると良いと思います。自分のアイデアに基づき探求するという素晴らしい体験をした全ての皆さんが、応募をステップとしてさらに飛躍されていくことを期待しています。